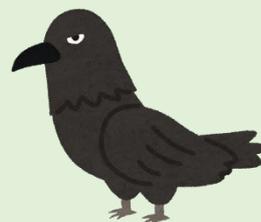


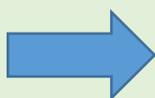
# カラスによるごみ散乱を防止するためのひと工夫

集積所は、利用者の皆様で管理をお願いしています。トラブルなどにならないよう、協力し合って適正に管理してください。



カラスは賢く、学習能力に優れた生き物です。一度エサがあると認識した場所は、繰り返しエサをあさる習性があります。また、カラスは嗅覚が鈍く、視覚に優れているため、生ごみ等が「見える」と「エサがある」と認識し、集積所が荒らされる原因になります。このため、生ごみ等を「見せない」、見えても「つつかせない」ことがカラスによるごみ散乱を防止するために必要です。

1. 生ごみを見せない
2. つついても中身を出せない



集積所がカラスに荒らされるのを防ぐ

1

ごみ散乱防止用ネット（カラス除けネット）で  
ごみをしっかり覆いましょう。

重石などを利用し、カラスが簡単にネットをめくれないようにしましょう。

2

新聞紙や紙袋等に生ごみを入れ、外から見えな  
いようにしましょう。

カラスは嗅覚よりも視力が優れているので、生ごみ等の食べ物が外から見え  
ないようにしましょう。

3

決められたルールに基づいて、ごみを出しま  
しょう。

ごみは、分別をし、決められた収集日の朝、明るくなってから8時30分まで  
に出すなど、決められたルールに基づいて出しましょう。